

第2章 長崎県における障害児・者の現状

1. 障害児・者数

(1) 身体障害

①障害種別

身体障害者手帳所持者は、平成29年3月31日現在76,084人で、平成20年から1,464人増加しています。

障害種別にみると、「内部障害」が若干増加し、「視覚障害」が減少しています。その結果、各障害種別の構成比は、「肢体不自由」が48.9%、「内部障害」31.8%、「聴覚・平衡機能障害」10.7%、「視覚障害」7.5%、「音声・言語機能障害」1.1%となっています。

障害種別身体障害者手帳所持者数と構成割合

(単位：人)

	平成10年		平成20年		平成29年		指数		
		構成比		構成比		構成比	平成10年	平成20年	平成29年
総数	65,362	100.0%	74,620	100.0%	76,084	100.0%	100.0	114.2	116.4
視覚障害	8,207	12.6%	7,149	9.6%	5,722	7.5%	100.0	87.1	69.7
聴覚・平衡機能障害	8,167	12.5%	8,097	10.9%	8,109	10.7%	100.0	99.1	99.3
音声・言語機能障害	729	1.1%	782	1.0%	840	1.1%	100.0	107.3	115.2
肢体不自由	34,023	52.1%	36,741	49.2%	37,199	48.9%	100.0	108.0	109.3
内部障害	14,236	21.8%	21,851	29.3%	24,214	31.8%	100.0	153.5	170.1

※障害者数は各年3月31日現在

②障害等級別

平成29年は平成20年から「4級」が2,534人、「1級」が1,746人増加しています。逆に、「5級」は815人減少しています。構成比は、「1級」28.6%、「4級」24.0%、「3級」18.2%、「2級」14.4%となっています。

障害等級別身体障害者手帳所持者数と構成割合

(単位：人)

	平成10年		平成20年		平成29年		指数		
		構成比		構成比		構成比	平成10年	平成20年	平成29年
総数	65,362	100.0%	74,620	100.0%	76,084	100.0%	100.0	114.2	116.4
1級	15,822	24.2%	20,015	26.8%	21,761	28.6%	100.0	126.5	137.5
2級	12,345	18.9%	12,152	16.3%	10,980	14.4%	100.0	98.4	88.9
3級	12,567	19.2%	14,495	19.4%	13,829	18.2%	100.0	115.3	110.0
4級	11,588	17.7%	15,728	21.1%	18,262	24.0%	100.0	135.7	157.6
5級	6,541	10.0%	6,083	8.2%	5,268	6.9%	100.0	93.0	80.5
6級	6,499	9.9%	6,147	8.2%	5,984	7.9%	100.0	94.6	92.1

※障害者数は各年3月31日現在

③年齢階層別

平成29年は平成20年から、「65歳以上」で4,643人増加しています。

構成比は、「65歳以上」が74.3%、「18～64歳」24.3%、「6～17歳」1.1%、「6歳未満」0.3%となっています。

年齢階層別身体障害者手帳所持者数と構成割合

(単位：人)

	平成10年		平成20年		平成29年		指数		
		構成比		構成比		構成比	平成10年	平成20年	平成29年
総数	65,362	100.0%	74,620	100.0%	76,084	100.0%	100.0	114.2	116.4
6歳未満	357	0.5%	239	0.3%	244	0.3%	100.0	66.9	68.3
6～17歳	1,062	1.6%	985	1.3%	874	1.1%	100.0	92.7	82.3
18～64歳	24,315	37.2%	21,535	28.9%	18,462	24.3%	100.0	88.6	75.9
65歳以上	39,628	60.6%	51,861	69.5%	56,504	74.3%	100.0	130.9	142.6

※障害者数は各年3月31日現在

④年齢階層別・障害種類別

年齢階層別・障害種類別・障害程度構成（平成29年3月31日）

(単位：人)

		合計	視覚障害	聴覚・平衡 機能障害	音声・言語 機能障害	肢体不自由	内部不自由	
実数	合計	76,084	5,722	8,109	840	37,199	24,214	
	重度	計	32,741	3,803	2,025	73	13,408	13,432
		6歳未満	154	5	13	0	90	46
		6～17歳	517	17	48	1	368	83
		18～64歳	9,137	942	677	31	4,579	2,908
		65歳以上	22,933	2,839	1,287	41	8,371	10,395
	中・軽度	計	43,343	1,919	6,084	767	23,791	10,782
		6歳未満	90	0	35	0	26	29
		6～17歳	357	13	69	5	185	85
		18～64歳	9,325	424	686	297	5,696	2,222
		65歳以上	33,571	1,482	5,294	465	17,884	8,446
	構成比	合計	100.0%	7.5%	10.7%	1.1%	48.9%	31.8%
重度		計	43.0%	5.0%	2.7%	0.1%	17.6%	17.7%
		6歳未満	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
		6～17歳	0.7%	0.0%	0.1%	0.0%	0.5%	0.1%
		18～64歳	12.0%	1.2%	0.9%	0.0%	6.0%	3.8%
		65歳以上	30.1%	3.7%	1.7%	0.1%	11.0%	13.7%
中・軽度		計	57.0%	2.5%	8.0%	1.0%	31.3%	14.2%
		6歳未満	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		6～17歳	0.5%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.1%
		18～64歳	12.3%	0.6%	0.9%	0.4%	7.5%	2.9%
		65歳以上	44.1%	1.9%	7.0%	0.6%	23.5%	11.1%

※重度（1～2級）、中・軽度（3～6級）

(2) 知的障害

①障害等級別

療育手帳所持者は平成29年3月31日現在14,737人で、平成20年から2,955人増加しています。障害程度別にみると、「重度」が811人、「中・軽度」が2,144人増加しています。

障害等級別療育手帳所持者数と構成割合

(単位：人)

	平成10年		平成20年		平成29年		指数		
		構成比		構成比		構成比	平成10年	平成20年	平成29年
総数	9,182	100.0%	11,782	100.0%	14,737	100.0%	100.0	128.3	160.5
重度計	4,409	48.0%	5,386	45.7%	6,197	42.1%	100.0	122.2	140.6
A	68	0.7%	38	0.3%	19	0.1%	100.0	55.9	27.9
A1	2,244	24.4%	2,940	25.0%	3,408	23.1%	100.0	131.0	151.9
A2	2,097	22.8%	2,408	20.4%	2,770	18.8%	100.0	114.8	132.1
中・軽度計	4,773	52.0%	6,396	54.3%	8,540	57.9%	100.0	134.0	178.9
B	40	0.4%	20	0.2%	11	0.1%	100.0	50.0	27.5
B1	2,655	28.9%	3,284	27.9%	3,882	26.3%	100.0	123.7	146.2
B2	2,078	22.6%	3,092	26.2%	4,647	31.5%	100.0	148.8	223.6

※障害者数は各年3月31日現在

②年齢階層別

平成29年は平成20年から、「65歳以上」が835人、「6～17歳」が439人、「40～64歳」が780人、「18～39歳」が867人、「6歳未満」が34人増加しています。

年齢階層別療育手帳所持者数と構成割合

(単位：人)

	平成10年		平成20年		平成29年		指数		
		構成比		構成比		構成比	平成10年	平成20年	平成29年
総数	9,182	100.0%	11,782	100.0%	14,737	100.0%	100.0	128.3	160.5
6歳未満	225	2.5%	175	1.5%	209	1.4%	100.0	77.8	92.9
6～17歳	1,289	14.0%	1,714	14.5%	2,153	14.6%	100.0	133.0	167.0
18～39歳	4,028	43.9%	4,342	36.9%	5,209	35.3%	100.0	107.8	129.3
40～64歳	3,133	34.1%	4,524	38.4%	5,304	36.0%	100.0	144.4	169.3
65歳以上	507	5.5%	1,027	8.7%	1,862	12.6%	100.0	202.6	367.3

※障害者数は各年3月31日現在

③年齢階層別・障害等級別

年齢階層別・障害等級別構成（平成29年3月31日）

（単位：人）

		計	重度計	A	A1	A2	中・軽度計	B	B1	B2
実数	合計	14,737	6,197	19	3,408	2,770	8,540	11	3,882	4,647
	6歳未満	209	100	0	36	64	109	0	60	49
	6～17歳	2,153	727	0	434	293	1,426	0	439	987
	18～39歳	5,209	2,054	0	1,231	823	3,155	1	1,193	1,961
	40～64歳	5,304	2,415	11	1,337	1,067	2,889	9	1,500	1,380
	65歳以上	1,862	901	8	370	523	961	1	690	270
構成比	合計	100.0%	42.1%	0.1%	23.1%	18.8%	57.9%	0.1%	26.3%	31.5%
	6歳未満	1.4%	0.7%	0.0%	0.2%	0.4%	0.7%	0.0%	0.4%	0.3%
	6～17歳	14.6%	4.9%	0.0%	2.9%	2.0%	9.7%	0.0%	3.0%	6.7%
	18～39歳	35.3%	13.9%	0.0%	8.4%	5.6%	21.4%	0.0%	8.1%	13.3%
	40～64歳	36.0%	16.4%	0.1%	9.1%	7.2%	19.6%	0.1%	10.2%	9.4%
	65歳以上	12.6%	6.1%	0.1%	2.5%	3.5%	6.5%	0.0%	4.7%	1.8%

(3) 精神障害

○入院・通院者数

精神障害のある人は、医療機関の利用状況から見ると、平成28年6月末現在で精神科病院に入院している人が6,743人となっており、平成22年度の7,150人から407人(5.7%減)減少しています。

また、平成28年2月末現在で自立支援医療費（精神通院医療費）を受給し、通院している人は、18,641人となっており、平成22年度の14,652人から3,989人(27.2%増)増加しています。

精神科病院入院患者数・自立支援医療費（精神通院医療費）受給者数の推移

単位：人

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
精神科病院入院患者数	7,150	7,038	6,978	6,907	6,919	6,716	6,743
自立支援医療費（精神通院医療費）受給者数	14,652	14,025	16,255	16,919	17,665	18,051	18,641
計	21,802	21,063	23,233	23,826	24,584	24,767	25,384

※精神科病院入院患者数は、平成22年度～27年度は12月末現在、平成28年度は6月末現在

自立支援医療費（精神通院医療費）受給者数は、各年度2月末現在

○精神障害者保健福祉手帳所持者数

精神障害者保健福祉手帳所持者数は平成28年3月31日現在10,384人で、年々増加傾向にあります。

障害等級別精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

単位：人

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1級	1,002	1,017	1,071	1,166	1,176	1,217	1,180
2級	4,990	5,127	5,403	5,801	6,054	6,360	6,495
3級	1,460	1,578	1,771	2,069	2,237	2,476	2,709
計	7,452	7,722	8,245	9,036	9,467	10,053	10,384

※各年度3月末現在

精神科病床数の全国比較

単位：床

区分	病床数	病床数（人口万人対）
全国	315,662	24.8
長崎県	7,869	55.5

※長崎県は平成27年12月末現在

全国は平成27年6月末現在

(4) 発達障害

発達障害とは、発達障害者支援法において「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害（LD）、注意欠陥・多動性障害（ADHD）その他これに類する脳機能の障害であって、その症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」と定義されています。障害の種別では、精神障害に分類されます。

本県においては、発達障害児を早期発見し、療育指導につなげるため、乳幼児健診における発達障害についての健診を行っておりますが、対象が乳幼児期に限られていることもあり、障害児者の実数等の把握が困難な状況にあります。

なお、平成27年に長崎県教育委員会が行った「通常の学級に在籍する発達障害があると思われる子どもに関する実態調査」によると、担任等が文部科学省のチェックリスト等に該当するとした発達障害と思われる子どもの割合は、7.6%であったという結果が出ています。

この結果は平成24年に文部科学省が行った「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」の6.5%より高い割合となっておりますが、一概に発達障害等があると思われる子どもが増加したとは断定できず、教員の発達障害に対する理解が高まったことが要因として考えられます。

(5) 高次脳機能障害

高次脳機能障害とは、一般に、交通事故等による外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受け、その後遺症として生じた記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害を指すものとされています。

高次脳機能障害者については、この障害についての認知度がまだ低く、専門の医療機関も少ないことなどから、実数の把握は困難な状況にあります。

このため県では、平成17年度に実態把握のための調査を実施し、高次脳機能障害者の県全体の年間発生見込は110～120人という結果となっております。

(6) 難病等

平成 25 年 4 月 1 日に施行された障害者総合支援法では、障害者の範囲に難病等が追加されました。難病等とは、障害者総合支援法において「治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病であって政令で定めるものによる障害の程度が厚生労働大臣が定める程度である者」と規定されています。平成 25 年 4 月 1 日時点では、対象疾患が 130 疾患でしたが、平成 27 年 1 月からは 151 疾患に、さらに平成 27 年 7 月からは 322 疾患に、平成 29 年 4 月からは 358 疾患に拡大されました。

なお、障害者総合支援法の対象となる難病等の実数の把握は困難な状況ですが、難病のうち国と県による医療費助成の対象となる 306 疾患（特定疾患）の医療受給者証の認定者数は、平成 29 年 3 月 31 日現在、14,073 人です。

疾患別にみると、潰瘍性大腸炎の患者数が最も多く 1,903 人、次いでパーキンソン病 1,622 人、全身性エリテマトーデス 962 人となっています。

2. サービス提供等の現状

(1) 障害福祉サービス等の利用状況

区分	サービス	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
訪問系サービス (時間分)	居宅介護	50,241	48,680	49,088
	重度訪問介護			
	同行援護			
	行動援護			
	重度障害者等包括支援			
日中活動系サービス (日分)	生活介護	84,657	84,964	83,318
	自立訓練（機能訓練）	235	224	293
	自立訓練（生活訓練）	5,375	4,407	2,706
	就労移行支援	9,100	8,332	7,583
	就労継続支援（A型）	16,418	17,946	18,409
	就労継続支援（B型）	77,921	81,803	88,216
	短期入所	4,266	4,256	4,574

(1) 障害福祉サービス等の利用状況

区分	サービス	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
居住系サービス (人分)	共同生活援助	2,389	2,552	2,494
入所系サービス (人分)	施設入所支援	2,407	2,377	2,410
	療養介護	500	505	506
その他サービス (人分)	計画相談支援	2,292	2,416	2,769
その他サービス (人分)	地域相談支援 (地域移行支援)	3	9	12
その他サービス	地域相談支援 (地域定着支援)	8	11	10

※1月あたりの実績数。

※時間分は、時間単位でサービスを提供することから延べ時間数。

※日分は、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※人分は実人員。

※平成 27 年度、28 年度は各年度末実績分、平成 29 年度は平成 29 年 7 月実績分。

(2) 障害児支援等の利用状況

区分	サービス	平成27年度	平成28年度	平成29年度
通所系サービス (日分)	児童発達支援	4,991	5,980	5,585
	放課後等デイサービス	20,041	25,606	28,786
	保育所等訪問支援	68	80	99
入所系サービス (人分)	障害児入所支援	83	83	79
	医療型障害児入所支援	51	40	40
その他サービス (人分)	障害児相談支援	345	556	953

※1月あたりの実績数。

※日分は、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※人分は実人員。

※平成 27 年度、28 年度は各年度末実績分、平成 29 年度は平成 29 年 7 月実績分。

3. 障害保健福祉圏域ごとの現状

(1) 長崎圏域

【構成市及び町】 長崎市

【人口】 426,578人（平成28年10月1日現在）

【障害者数】 31,191人（平成29年3月31日現在）

- ・ 身体障害者手帳所持者数 23,135人
- ・ 療育手帳所持者数 4,041人
- ・ 精神障害者保健福祉手帳所持者数 4,015人

○概況

- ・ 本地域は、海外との交流の歴史から「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」と「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産をはじめ、往時を偲ぶ歴史の跡が多数存在しています。
- ・ 製造業においては、船舶製造・修理のほか発電プラント等の大型機械等を生産する大手事業所があり、周辺には関連する工場や企業が多く集積しています。
- ・ 水産業では、水揚げの拠点として新長崎漁港が立地し、多くの魚介類が集荷されている中、中国など東アジア向け鮮魚等の出荷も伸びています。また漁港の背後地には水産加工団地や行政・大学の研究機関が立地し、生産・流通・加工・研究・教育にわたる水産基地が形成されています。

○圏域の福祉資源

- ・ 県内の中心部で、人口、障害者数、事業所数が最も多い地域で各サービスにおいて利用者のニーズを概ね満たしていますが、グループホームが不足しています。
- ・ 一般就労に向け就労移行支援に力を入れていくとともに、福祉的就労の充実に向け工賃向上の取組を推進しています。小児の発達障害等の診察可能な医療機関が不足しており、早期発見療育の一環として、乳幼児健診からスムーズに障害福祉サービス等の利用につなげられる体制の整備が求められています。

○サービスの見込量

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
訪問	居宅介護	95	818	20,684	1,079	23,209
	重度訪問介護	94				
	同行援護	58				
	行動援護	7				
	重度障害者等包括支援	0				

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
日中活動	生活介護	23	1,030	20,806	1,278	23,004
	自立訓練（機能訓練）	1	19	131	19	120
	自立訓練（生活訓練）	5	38	706	54	1,149
	就労移行支援	21	128	2,240	152	2,888
	就労継続支援（A型）	13	178	3,542	218	4,796
	就労継続支援（B型）	41	1,108	20,054	1,255	22,590
	就労定着支援	-	-	-	39	-
	短期入所（福祉型）	23	153	1,025	179	1,253
	短期入所（医療型）		22	123	22	123
居住	共同生活援助	31	451	-	579	-
	自立生活援助	-	-	-	3	-
入所	施設入所支援	9	624	-	608	-
	療養介護	1	145	-	145	-
相談支援	計画相談支援	39	654	-	625	-
	地域移行支援	13	3	-	5	-
	地域定着支援	13	3	-	8	-

※1月あたりの実績（見込み）数。平成29年度は、7月実績分。（下表も同様）

※訪問系サービスは、時間単位でサービスを提供することから延べ時間数。

※日中系サービスは、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※居住系・入所系サービス、相談支援は、実人員。

【障害児支援】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
通所支援	児童発達支援	49	186	1,339	333	2,331
	医療型児童発達支援		0	0	0	0
	放課後等デイサービス		587	8,511	777	7,770
	保育所等訪問支援	6	11	35	18	72
	居宅訪問型児童発達支援	-	-	-	3	15
相談	障害児相談支援	30	181	-	191	-

※障害児通所支援は、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※相談支援は、実人員。

(2) 西彼圏域

【構成市及び町】 西海市、長与町、時津町

【人口】 100,699人（平成28年10月1日現在）

【障害者数】 6,215人（平成29年3月31日現在）

- ・ 身体障害者手帳所持者数 4,759人
- ・ 療育手帳所持者数 957人
- ・ 精神障害者保健福祉手帳所持者数 499人

○概況

- ・ 本地域は、西彼杵半島及びその周辺の島々で構成されており、複雑な海岸線をはじめ豊かな自然と美しい景観に恵まれ、西海国立公園及び3つの県立自然公園を有しています。
- ・ 農業では、温州みかんなど果実類の生産が盛んです。畜産業では豚の生産が盛んで県内の約3割を生産しています。林業では、西彼杵半島を主として良質なヒノキが生産されています。

○圏域の福祉資源

- ・ 長崎市近郊のため、圏域内には長崎市内の事業所を利用されている方が多くいます。また、西海市北部では佐世保市内の事業所を利用されている方もいます。今後は利用者の方のニーズに合わせ、住み慣れた身近な圏域内でサービス利用できる環境の整備が求められています。
- ・ 特に、グループホーム、短期入所事業所、重症心身障害児及び医療的ケア児が利用可能な通所事業所が不足しています。

○サービスの見込量

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
訪問	居宅介護	18	122	1,994	134	2,602
	重度訪問介護	17				
	同行援護	11				
	行動援護	0				
	重度障害者等包括支援	0				

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
日中活動	生活介護	6	233	4,144	259	4,603
	自立訓練（機能訓練）	1	5	30	6	32
	自立訓練（生活訓練）	1	12	224	10	164
	就労移行支援	2	23	444	25	495
	就労継続支援（A型）	2	49	1,306	56	1,420
	就労継続支援（B型）	10	308	5,363	351	6,173
	就労定着支援	-	-	-	9	-
	短期入所（福祉型）	4	20	96	22	102
	短期入所（医療型）		6	44	8	54
居住	共同生活援助	7	126	-	132	-
	自立生活援助	-	-	-	5	-
入所	施設入所支援	3	146	-	149	-
	療養介護	0	22	-	23	-
相談支援	計画相談支援	9	127	-	144	-
	地域移行支援	1	3	-	3	-
	地域定着支援	1	0	-	2	-

※1月あたりの実績（見込み）数。平成29年度は、7月実績分。（下表も同様）

※訪問系サービスは、時間単位でサービスを提供することから延べ時間数。

※日中系サービスは、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※居住系・入所系サービス、相談支援は、実人員。

【障害児支援】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
通所支援	児童発達支援	30	137	912	175	1,250
	医療型児童発達支援		0	0	0	0
	放課後等デイサービス		175	1,973	235	2,947
	保育所等訪問支援	4	0	0	9	10
	居宅訪問型児童発達支援	-	-	-	6	40
相談	障害児相談支援	20	152	-	160	-

※障害児通所支援は、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※相談支援は、実人員。

(3) 佐世保圏域

【構成市及び町】 佐世保市

【人口】 253,910人（平成28年10月1日現在）

【障害者数】 18,815人（平成26年3月31日現在）

- ・ 身体障害者手帳所持者数 14,310人
- ・ 療育手帳所持者数 2,632人
- ・ 精神障害者保健福祉手帳所持者数 1,873人

○概況

- ・ 本地域は、本県本土の北部から佐賀県西部に至る地域で、日本本土の最西端に位置しています。西は宇久島、小値賀島から東は伊万里湾に至るまでの海域に数多くの島嶼が点在し、陸地には多くの山岳、丘陵が起伏して海岸線まで迫り、平坦地の少ない複雑な地形を形成しています。そのような地理的特性から、西海国立公園や大村湾県立公園などに指定され、九十九島に代表される風光明媚で豊かな自然、美しい景観に恵まれています。
- ・ 本地域の特色ある産業として、造船業などの製造業や三川内焼、周辺地域には波佐見焼といった伝統的な陶磁器産業があり、近年、デジタルカメラの製造拠点や自動車関連産業が進出するなど産業分野の発展が期待されています。

○圏域の福祉資源

- ・ 佐世保市は平成28年4月から中核市となり、圏域としては県央圏域に次いで3番目に人口、障害者の数が多い圏域です。
- ・ 各サービス事業所が充足している圏域であり、数としては利用者のニーズを満たしてきています。就労継続支援B型事業所はニーズ以上に数が増えてきています。一方で、グループホームは不足しており、地域移行・定着に課題を抱えています。グループホームの拡充が必要です。
- ・ 重心児・医療的ケア児のレスパイト（医療型短期入所）が不足しています。土日に入入ができるレスパイト先の確保が必要です。

○サービスの見込量

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
訪問	居宅介護	30	261	4,633	232	3,683
	重度訪問介護	30				
	同行援護	11				
	行動援護	2				
	重度障害者等包括支援	0				

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
日中活動	生活介護	27	879	15,899	879	15,899
	自立訓練（機能訓練）	0	1	20	1	20
	自立訓練（生活訓練）	7	16	291	30	457
	就労移行支援	16	129	2,455	149	2,842
	就労継続支援（A型）	14	195	4,080	232	4,590
	就労継続支援（B型）	44	760	14,721	905	16,559
	就労定着支援	-	-	-	84	-
	短期入所（福祉型）	11	48	392	51	407
	短期入所（医療型）		5	18	5	30
居住	共同生活援助	32	476	-	491	-
	自立生活援助	-	-	-	7	-
入所	施設入所支援	7	429	-	429	-
	療養介護	0	87	-	90	-
相談支援	計画相談支援	23	428	-	612	-
	地域移行支援	7	3	-	3	-
	地域定着支援	4	0	-	0	-

※1月あたりの実績（見込み）数。平成29年度は、7月実績分。（下表も同様）

※訪問系サービスは、時間単位でサービスを提供することから延べ時間数。

※日中系サービスは、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※居住系・入所系サービス、相談支援は、実人員。

【障害児支援】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
通所支援	児童発達支援	34	91	724	128	964
	医療型児童発達支援		0	0	0	0
	放課後等デイサービス		543	5,399	564	5,615
	保育所等訪問支援	1	1	2	3	3
	居宅訪問型児童発達支援	-	-	-	2	16
相談	障害児相談支援	19	104	-	107	-

※障害児通所支援は、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※相談支援は、実人員。

(4) 県北圏域

【構成市及び町】 平戸市、松浦市、佐々町

【人口】 67,950 人（平成 28 年 10 月 1 日現在）

【障害者数】 6,077 人（平成 29 年 3 月 31 日現在）

- ・ 身体障害者手帳所持者数 4,748 人
- ・ 療育手帳所持者数 851 人
- ・ 精神障害者保健福祉手帳所持者数 478 人

○概況

- ・ 朝鮮半島や中国大陸に近く、古くから大陸との交易が行われており、遣隋使や遣唐使の寄港地としても知られています。さらに松浦水軍の本拠地として海上交通により一体的に結ばれてきた歴史、元寇や南蛮貿易港として栄えた歴史などがあります。
- ・ このような多様な歴史により培われた平戸松浦藩の武家文化、西洋諸国との貿易拠点となった平戸和蘭商館跡、旧野首教会、田平天主堂などの教会堂、佐々川流域の石橋群などのさまざまな文化遺産も有しています。
- ・ 水産業では、多様な水産資源に恵まれた長崎県内有数の拠点地域であり、一本釣や定置網などの沿岸漁業や全国で大きなシェアを占めるトラフグ養殖、東シナ海、西日本周辺海域等を漁場とする大中型まき網漁業などが盛んです。

○圏域の福祉資源

- ・ 全体的に障害福祉施設が少なく、佐世保市内のサービス事業所を利用する方が多くいます。特に就労継続支援A型事業所、グループホームが不足しています。
- ・ 児童の通所支援事業所や就労継続支援B型事業所が増えてきています。
- ・ 障害児の保育所等での受入が良い傾向にあります。今後は保育所訪問支援等に力を入れ、保育所での障害児への支援体制の充実を図っていく必要があります。

○サービスの見込量

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
訪問	居宅介護	11	71	1,029	85	1,538
	重度訪問介護	11				
	同行援護	8				
	行動援護	1				
	重度障害者等包括支援	0				

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
日中活動	生活介護	4	256	5,126	257	5,123
	自立訓練（機能訓練）	0	2	26	3	44
	自立訓練（生活訓練）	1	8	211	12	324
	就労移行支援	2	16	135	25	259
	就労継続支援（A型）	1	47	1,027	58	1,267
	就労継続支援（B型）	16	365	7,592	460	9,661
	就労定着支援	-	-	-	13	-
	短期入所（福祉型）	3	15	176	24	286
	短期入所（医療型）		1	20	1	24
居住	共同生活援助	7	212	-	249	-
	自立生活援助	-	-	-	11	-
入所	施設入所支援	2	191	-	180	-
	療養介護	0	32	-	33	-
相談支援	計画相談支援	8	768	-	836	-
	地域移行支援	2	0	-	7	-
	地域定着支援	2	1	-	7	-

※1月あたりの実績（見込み）数。平成29年度は、7月実績分。（下表も同様）

※訪問系サービスは、時間単位でサービスを提供することから延べ時間数。

※日中系サービスは、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※居住系・入所系サービス、相談支援は、実人員。

【障害児支援】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
通所支援	児童発達支援	9	52	174	78	272
	医療型児童発達支援		0	0	0	0
	放課後等デイサービス		110	818	146	1,398
	保育所等訪問支援	0	0	0	12	39
	居宅訪問型児童発達支援	-	-	-	7	34
相談	障害児相談支援	5	106	-	163	-

※障害児通所支援は、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※相談支援は、実人員。

(5) 県央圏域

【構成市及び町】 諫早市、大村市、東彼杵町、川棚町、波佐見町

【人口】 267,414人（平成28年10月1日現在）

【障害者数】 17,549人（平成29年3月31日現在）

- ・ 身体障害者手帳所持者数 12,813人
- ・ 療育手帳所持者数 2,956人
- ・ 精神障害者保健福祉手帳所持者数 1,780人

○概況

- ・ 本地域は、長崎県のほぼ中央に位置し、橘湾、大村湾、諫早湾と、それぞれ特性の異なる3つの海に囲まれ、多良岳県立公園や本県唯一の一級河川本明川など、豊かな自然環境に恵まれています。空港、鉄道駅、高速道路のインターチェンジを擁し、県内及び県外地域を陸路・空路で結ぶ交通の要衝として重要な位置を占め、将来に大きな発展の可能性を秘めた地域です。
- ・ 総生産額は、県全体の2割強、うち製造業は4割弱のシェアを占めており、複数の工業団地や伝統的な陶磁器産業があるなど、県内における製造業の一大集積地となっています。

○圏域の福祉資源

- ・ 各サービスの事業所数が非常に増えてきており、数としては概ね充足してきていますが、グループホーム及び就労継続支援A型事業所が少ないという意見もあります。また、サービス事業所は2市内に集中しており、東彼3町においては特に児童の通所サービスが不足しています。
- ・ 専門性の高い医療機関が複数あり、また県内にある医療型障害児施設・療養介護事業所5か所のうち4か所がこの圏域にあり、医療的ケアを要する障害児・者に対するサービスも他の圏域と比べて整っています。

○サービスの見込量

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
訪問	居宅介護	48	559	13,780	608	14,768
	重度訪問介護	46				
	同行援護	22				
	行動援護	9				
	重度障害者等包括支援	0				

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
日中活動	生活介護	40	912	16,111	988	17,436
	自立訓練（機能訓練）	0	1	4	5	41
	自立訓練（生活訓練）	8	43	727	56	982
	就労移行支援	18	85	1,637	116	2,297
	就労継続支援（A型）	20	211	4,360	284	5,650
	就労継続支援（B型）	52	878	20,554	1,041	20,439
	就労定着支援	-	-	-	9	-
	短期入所（福祉型）	41	254	1,682	300	2,111
	短期入所（医療型）		6	36	11	67
居住	共同生活援助	30	471	-	578	-
	自立生活援助	-	-	-	6	-
入所	施設入所支援	11	369	-	354	-
	療養介護	4	103	-	106	-
相談支援	計画相談支援	22	373	-	464	-
	地域移行支援	6	2	-	15	-
	地域定着支援	6	4	-	17	-

※1月あたりの実績（見込み）数。平成29年度は、7月実績分。（下表も同様）

※訪問系サービスは、時間単位でサービスを提供することから延べ時間数。

※日中系サービスは、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※居住系・入所系サービス、相談支援は、実人員。

【障害児支援】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
通所支援	児童発達支援	47	268	1,903	362	2,373
	医療型児童発達支援		0	0	0	0
	放課後等デイサービス		708	8,190	966	11,216
	保育所等訪問支援	12	50	55	208	201
	居宅訪問型児童発達支援	-	-	-	4	74
相談	障害児相談支援	18	215	-	443	-

※障害児通所支援は、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※相談支援は、実人員。

(6) 県南圏域

【構成市及び町】 島原市、雲仙市、南島原市

【人口】 134,114 人（平成 28 年 10 月 1 日現在）

【障害者数】 10,499 人（平成 29 年 3 月 31 日現在）

- ・ 身体障害者手帳所持者数 8,004 人
- ・ 療育手帳所持者数 1,650 人
- ・ 精神障害者保健福祉手帳所持者数 845 人

○概況

- ・ 本地域は、有明海、橘湾に囲まれた半島であり、雲仙天草国立公園、島原半島県立公園に指定されています。
- ・ 本県の農業総生産額の 4 割を超える本県を代表する農業地帯であり、野菜や畜産をはじめ果樹、花きなど、恵まれた気候・土壌条件を活かして多様な産地が形成されています。また、特用林産物である菌床しいたけの生産も盛んな地域です。漁業は、漁船漁業や養殖等、様々な漁業が営まれています。特に有明海におけるノリ、ワカメの生産量は、県全体の 90%以上を占めています。

○圏域の福祉資源

- ・ 人口規模に対し、グループホームの整備が進んでいる地域です。
- ・ 圏域内にある特別支援学校においては、在学時から障害福祉サービスについての説明を行い、卒業後の適切な進路に結びつける取組が実施されています。
- ・ 児童発達支援センターが 1ヶ所あり、障害児福祉サービスの中心となっています。障害児福祉サービスの事業所数は年々増加傾向にありますが、今後は児童発達センターを中心にサービスの質の向上に取り組んでいく必要があります。

○サービスの見込量

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
訪問	居宅介護	39	200	2,585	238	2,792
	重度訪問介護					
	同行援護					
	行動援護					
	重度障害者等包括支援					

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
日中活動	生活介護	34	624	11,822	670	13,016
	自立訓練（機能訓練）	0	1	20	2	36
	自立訓練（生活訓練）	3	7	158	19	390
	就労移行支援	8	31	556	44	651
	就労継続支援（A型）	15	165	3,553	205	4,166
	就労継続支援（B型）	33	513	9,963	526	9,441
	就労定着支援	-	-	-	16	-
	短期入所（福祉型）	16	78	760	94	825
	短期入所（医療型）		13	44	20	70
居住	共同生活援助	37	458	-	534	-
	自立生活援助	-	-	-	19	-
入所	施設入所支援	9	276	-	283	-
	療養介護	0	66	-	72	-
相談支援	計画相談支援	16	231	-	239	-
	地域移行支援	10	0	-	5	-
	地域定着支援	10	0	-	5	-

※1月あたりの実績（見込み）数。平成29年度は、7月実績分。（下表も同様）

※訪問系サービスは、時間単位でサービスを提供することから延べ時間数。

※日中系サービスは、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※居住系・入所系サービス、相談支援は、実人員。

【障害児支援】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
通所支援	児童発達支援	12	74	228	104	298
	医療型児童発達支援		0	0	0	0
	放課後等デイサービス		243	2,829	336	3,864
	保育所等訪問支援	1	2	2	21	10
	居宅訪問型児童発達支援	-	-	-	9	164
相談	障害児相談支援	13	147	-	100	-

※障害児通所支援は、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※相談支援は、実人員。

(7) 五島圏域

【構成市及び町】 五島市

【人口】 36,602 人（平成 28 年 10 月 1 日現在）

【障害者数】 3,412 人（平成 29 年 3 月 31 日現在）

- ・ 身体障害者手帳所持者数 2,416 人
- ・ 療育手帳所持者数 565 人
- ・ 精神障害者保健福祉手帳所持者数 431 人

○概況

- ・ 九州の最西端に位置し、129 の島々からなる本地域は、比較的平坦な福江島を除き、海岸線は屈曲に富んでおり、海と山が織りなす美しい自然景観により西海国立公園に指定されています。
- ・ 対馬暖流と沿岸流との影響から魚の回遊が多く、西日本有数の好漁場を形成しており、古くから水産業が盛んな地域となっています。また、五島列島はリアス式海岸で変化に富み、養殖に適した水域が多く、クロマグロ、ブリなどが養殖されています。
- ・ 農業については、畑作中心の経営であり、肉用牛、養豚、葉たばこ、ブロッコリーなどの主幹作目に加え、茶、たかな、スナップエンドウ、トマト、アスパラガス、ハウスびわなど多様な園芸品目の産地化を進めています。

○圏域の福祉資源

- ・ 本県の離島部では最も人口も多く、障害者数も最も多い圏域です。
- ・ 他の離島部に比べ、全体的に事業所数は充実してきていますが、医療的ケア児・者に対する短期入所サービス事業所がなく、個々のニーズを拾い上げられるサービス提供体制構築が望まれます。
- ・ サービス提供体制が圏域内で完結するため、事業所間の連携が取りやすいというメリットがあります。また、精神障害者への地域移行についても、行政と医療機関及び相談支援事業所が連携した取組が進められている圏域です。

○サービスの見込量

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
訪問	居宅介護	40	107	1,521	108	1,630
	重度訪問介護					
	同行援護					
	行動援護					
	重度障害者等包括支援					

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
日中活動	生活介護	3	170	3,302	172	3,372
	自立訓練（機能訓練）	0	0	0	0	0
	自立訓練（生活訓練）	0	5	135	5	150
	就労移行支援	1	1	27	7	140
	就労継続支援（A型）	1	6	119	12	240
	就労継続支援（B型）	11	232	4,278	278	5,182
	就労定着支援	-	-	-	1	-
	短期入所（福祉型）	4	10	59	10	80
	短期入所（医療型）		1	5	1	4
居住	共同生活援助	10	130	-	156	-
	自立生活援助	-	-	-	2	-
入所	施設入所支援	1	111	-	117	-
	療養介護	0	19	-	19	-
相談支援	計画相談支援	7	54	-	73	-
	地域移行支援	1	1	-	1	-
	地域定着支援	1	0	-	2	-

※1月あたりの実績（見込み）数。平成29年度は、7月実績分。（下表も同様）

※訪問系サービスは、時間単位でサービスを提供することから延べ時間数。

※日中系サービスは、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※居住系・入所系サービス、相談支援は、実人員。

【障害児支援】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
通所支援	児童発達支援	2	46	140	58	175
	医療型児童発達支援		0	0	0	0
	放課後等デイサービス		31	262	56	476
	保育所等訪問支援	1	5	5	3	6
	居宅訪問型児童発達支援	-	-	-	0	0
相談	障害児相談支援	7	14	-	14	-

※障害児通所支援は、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※相談支援は、実人員。

(8) 上五島圏域

【構成市及び町】 新上五島町、小値賀町

【人口】 21,789人（平成28年10月1日現在）

【障害者数】 2,357人（平成29年3月31日現在）

- ・ 身体障害者手帳所持者数 1,761人
- ・ 療育手帳所持者数 412人
- ・ 精神障害者保健福祉手帳所持者数 184人

○概況

- ・ 本地域は、五島列島の北部、中通島・若松島など7つの有人島と60の無人島から構成されており、地形は複雑で、海岸線は屈曲に富んでいます。
- ・ 伝統的な産品として、あご製品、五島手延うどん、かんころ餅、椿油等各種椿製品、サンゴ工芸品などがありますが、経営の安定化と販路の拡大が課題となっています。美しい自然景観と、遣唐使やキリシタンの歴史など数多くの歴史・文化遺産に恵まれていて、観光産業は水産業、農業に並ぶ本地域の基幹産業となっており、恵まれた自然環境や素材を活用した滞在交流型観光の充実、教会巡りなどにも力を入れています。

○圏域の福祉資源

- ・ 就労移行支援事業所及び就労継続支援A型事業所がないため、今後、島内の就労継続支援B型事業所等と協議を行い、就労移行支援事業あるいは就業・生活支援センターの設置についての取組が必要です。
- ・ 地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターの設置に取組み、障害のある人のニーズに応じた適切なサービスへ繋ぐことができるような相談支援体制を整備していくことが求められます。

○サービスの見込量

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
訪問	居宅介護	14	67	619	73	664
	重度訪問介護					
	同行援護					
	行動援護					
	重度障害者等包括支援					

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
日中活動	生活介護	2	136	2,715	149	2,883
	自立訓練（機能訓練）	0	2	62	4	119
	自立訓練（生活訓練）	0	1	23	5	107
	就労移行支援	0	1	23	5	89
	就労継続支援（A型）	0	6	135	6	138
	就労継続支援（B型）	2	69	1,362	91	1,930
	就労定着支援	-	-	-	6	-
	短期入所（福祉型）	1	1	31	3	53
	短期入所（医療型）		0	0	0	0
居住	共同生活援助	2	63	-	67	-
	自立生活援助	-	-	-	5	-
入所	施設入所支援	1	106	-	111	-
	療養介護	0	4	-	5	-
相談支援	計画相談支援	3	56	-	73	-
	地域移行支援	1	0	-	2	-
	地域定着支援	1	0	-	2	-

※1月あたりの実績（見込み）数。平成29年度は、7月実績分。（下表も同様）

※訪問系サービスは、時間単位でサービスを提供することから延べ時間数。

※日中系サービスは、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※居住系・入所系サービス、相談支援は、実人員。

【障害児支援】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
通所支援	児童発達支援	3	15	45	20	64
	医療型児童発達支援		0	0	0	0
	放課後等デイサービス		16	48	22	66
	保育所等訪問支援	0	0	0	0	
	居宅訪問型児童発達支援	-	-	-	2	9
相談	障害児相談支援	3	8	-	10	-

※障害児通所支援は、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※相談支援は、実人員。

(9) 壱岐圏域

【構成市及び町】 壱岐市

【人口】 26,639人（平成28年10月1日現在）

【障害者数】 2,337人（平成29年3月31日現在）

- ・ 身体障害者手帳所持者数 1,775人
- ・ 療育手帳所持者数 355人
- ・ 精神障害者保健福祉手帳所持者数 207人

○概況

- ・ 本地域は、対馬地域とともに壱岐対馬国定公園に指定されており、白砂青松の海岸をはじめとした美しい自然景観、豊かな歴史遺産、温泉、グルメなど多くの観光資源に恵まれています。古くから大陸文化の中継地として重要な役割を果たしており、貴重な歴史遺産も数多く、これらの歴史・文化資源等を活用した地域振興に取り組んでいます。地理的特性から福岡都市圏との結びつきが強く、経済圏も福岡市を中心とした北部九州地域に広がっています。
- ・ 農業は肉用牛、水稲、葉たばこの基幹作目を中心に、施設園芸や露地野菜、花き等を取り入れた複合経営が主体でとなっています。水産業は好漁場に恵まれ、釣りや定置網等により、イカ類、ブリ類、サワラ、クロマグロなどが主に漁獲されています。また、ウニ類等の磯根資源も豊富です。

○圏域の福祉資源

- ・ 平成29年4月に島内に障害者支援施設が新規開設されました。今後、島外の施設や事業所を利用している障害のある人が希望すれば島内に戻ることができるよう、生活介護サービス等の日中活動系サービスやグループホームの整備も併せて進めていくことが必要です。
- ・ 圏域には障害者就労・定着支援センター及び就労移行支援事業所がなく、一般就労への移行に向けた体制の整備に特に力を注ぐ必要があります。

○サービスの見込量

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
訪問	居宅介護	14	45	1,119	76	2,390
	重度訪問介護					
	同行援護					
	行動援護					
	重度障害者等包括支援					

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込み量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
日中活動	生活介護	0	93	1,926	130	2,483
	自立訓練（機能訓練）	0	0	0	1	10
	自立訓練（生活訓練）	1	12	231	15	288
	就労移行支援	0	2	44	3	53
	就労継続支援（A型）	1	10	220	14	302
	就労継続支援（B型）	3	91	1,776	95	1,852
	就労定着支援	-	-	-	1	-
	短期入所（福祉型）	4	2	17	3	28
	短期入所（医療型）		0	0	0	0
居住	共同生活援助	2	49	-	56	-
	自立生活援助	-	-	-	3	-
入所	施設入所支援	1	93	-	96	-
	療養介護	0	15	-	16	-
相談支援	計画相談支援	3	31	-	36	-
	地域移行支援	1	0	-	1	-
	地域定着支援	1	2	-	2	-

※1月あたりの実績（見込み）数。平成29年度は、7月実績分。（下表も同様）

※訪問系サービスは、時間単位でサービスを提供することから延べ時間数。

※日中系サービスは、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※居住系・入所系サービス、相談支援は、実人員。

【障害児支援】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
通所支援	児童発達支援	2	14	41	18	54
	医療型児童発達支援		0	0	0	0
	放課後等デイサービス		30	429	34	446
	保育所等訪問支援	0	0	0	0	
	居宅訪問型児童発達支援	-	-	-	1	1
相談	障害児相談支援	3	10	-	7	-

※障害児通所支援は、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※相談支援は、実人員。

(10) 対馬圏域

【構成市及び町】 対馬市

【人口】 30,819人（平成28年10月1日現在）

【障害者数】 2,958人（平成29年3月31日現在）

- ・身体障害者手帳所持者数 2,363人
- ・療育手帳所持者数 318人
- ・精神障害者保健福祉手帳所持者数 277人

○概況

- ・ 本地域は、九州最北端に位置し、韓国の釜山まで49.5kmの近さにある国境の島です。このような地理的条件のため、古代より、大陸からの窓口としての役割を果たし、朝鮮半島との交流が盛んに行われました。
- ・ 水産業は、いか釣り漁業を中心に様々な漁業が営まれているほか、天然の入江に恵まれた浅茅湾や沿岸域では養殖業が営まれており、クロマグロや真珠は県内有数の生産地になっています。林業は、基盤整備や価格協定販売等による木材の安定的な供給、地の利を活かした丸太・製品の輸出促進、しいたけ（原木）の再生産価格での販路拡大に取り組んでいます。

○圏域の福祉資源

- ・ 島内には入所施設が1か所ありますが、地域移行の受け皿となるグループホームが2か所しかなく、地域移行に課題を抱えています。また、多くの障害のある人が島外の施設や事業所を利用せざるを得ない状況です。
- ・ 今後、島外の施設や事業所を利用している方が希望すれば島内に戻ることができるよう、グループホーム及び日中活動系サービスの整備をより一層進めていくことが必要です。
- ・ 県内で基幹相談支援センターを設置している2市のうちの1市であり今後、基幹相談支援センターを中核とした相談支援体制の一層の充実が求められます。

○サービスの見込量

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
訪問	居宅介護	6	96	1,124	99	1,188
	重度訪問介護					
	同行援護					
	行動援護					
	重度障害者等包括支援					

【障害福祉サービス等】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
日中活動	生活介護	1	69	1,467	66	1,518
	自立訓練（機能訓練）	0	0	0	4	92
	自立訓練（生活訓練）	0	0	0	4	92
	就労移行支援	0	1	22	6	138
	就労継続支援（A型）	0	3	67	4	92
	就労継続支援（B型）	4	118	2,553	118	2,714
	就労定着支援	-	-	-	10	-
	短期入所（福祉型）	2	3	46	4	56
	短期入所（医療型）		0	0	0	0
居住	共同生活援助	2	58	-	67	-
	自立生活援助	-	-	-	2	-
入所	施設入所支援	1	65	-	62	-
	療養介護	0	13	-	14	-
相談支援	計画相談支援	4	47	-	52	-
	地域移行支援	0	0	-	3	-
	地域定着支援	0	0	-	1	-

※1月あたりの実績（見込み）数。平成29年度は、7月実績分。（下表も同様）

※訪問系サービスは、時間単位でサービスを提供することから延べ時間数。

※日中系サービスは、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※居住系・入所系サービス、相談支援は、実人員。

【障害児支援】

区分	サービス	施設数	現状（平成29年度）		見込量（平成32年度）	
			利用者数	実績	利用者数	見込量
通所支援	児童発達支援	2	14	79	20	160
	医療型児童発達支援		0	0	0	0
	放課後等デイサービス		29	327	30	420
	保育所等訪問支援	0	0	0	12	96
	居宅訪問型児童発達支援	-	-	-	1	23
相談	障害児相談支援	3	16	-	62	-

※障害児通所支援は、日単位でサービスを提供することから延べ日数。

※相談支援は、実人員。